

【報道関係者各位】

2019年7月17日
トーセイ株式会社

関東エリアの大型物流施設におけるアセットマネジメント業務と プロパティマネジメント業務受託のお知らせ

トーセイ株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長 山口誠一郎 証券コード:8923)の100%子会社である、トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長 藤永 明彦)は、ブラックストーン(NYSE:BX)又はその関連会社が運用する不動産ファンド(以下、総称して「ブラックストーン」)が投資する物流施設について、7月12日付でアセットマネジメント業務受託契約を締結いたしました。また、同100%子会社である、トーセイ・リバイバル・インベストメント株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長 若林 要)が、当該物件の内、一部において、プロパティマネジメント業務を受託しましたので、お知らせいたします。

◇関東エリアの物流施設800億円超のアセットマネジメント業務を受託

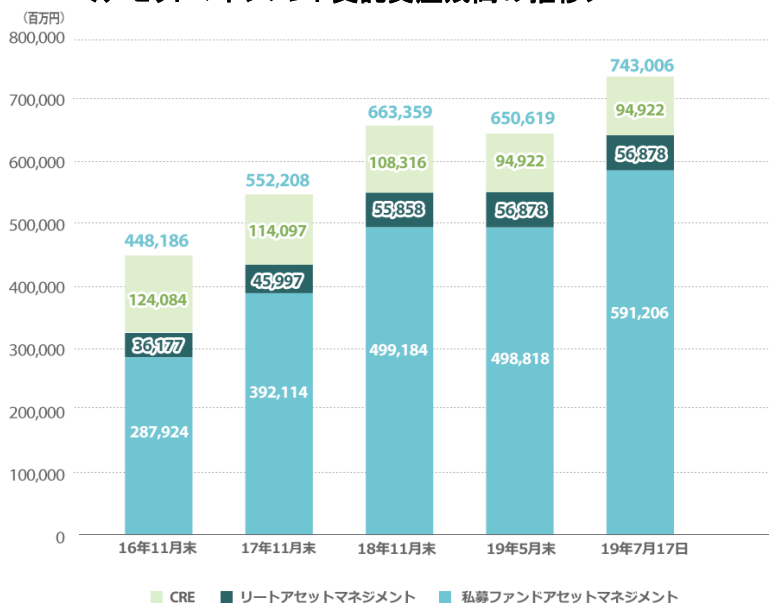
トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社(以下、TAA)は、ブラックストーンが投資する総額800億円超の物流施設について、アセットマネジメント(以下、AM)受託契約を締結いたしました。対象物件は、首都圏へのアクセスが良好な神奈川県や千葉県、栃木県など関東エリアに立地する大規模物流施設です。TAAは、2014年より同社から賃貸物件のAM等を継続して受託しておりますが、物流施設の受託は今回が初めてとなります。今回の新規受託により、トーセイグループの「不動産ファンド・コンサルティング事業」におけるAM受託資産残高は、本日7月17日時点で7,400億円超まで進捗しました。

◇一部施設のプロパティマネジメント業務も受託し、トーセイグループのシナジー効果を発揮

さらに、当該物件の一部について、トーセイ・リバイバル・インベストメント株式会社(以下、TRI)が、プロパティマネジメント(以下、PM)業務を受託いたしました。TRIでは、以前より物流施設のPM業務を受託しており、これまでの実績が評価され、今回の受託にいたりました。その結果、当社グループの物流施設のPM受託件数は全11棟、延床面積は15万坪を超えており、今後も拡大していく方針です。

当社グループでは、数年前からeコマースの台頭による物流施設需要に着目し、AMやPM、自社開発、海外出資といった、様々な実績をグループ全体で積み上げてまいりました。今後も、グループのシナジー効果を最大限に発揮し、時代の変化に対応しながら、更なる成長を目指します。

＜アセットマネジメント受託資産残高の推移＞



＜受託物件の一例＞



＜トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社 会社概要＞ (2019年5月末日現在)

会社名 トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社
代表者 藤永 明彦
所在地 東京都港区虎ノ門四丁目2番3号
資本金 1億円
事業内容 不動産ファンド・コンサルティング

＜トーセイ・リバイバル・インベスト株式会社 会社概要＞ (2019年5月末日現在)

会社名 トーセイ・リバイバル・インベスト株式会社
代表者 若林 要
所在地 東京都港区虎ノ門四丁目2番3号
資本金 5千万円
事業内容 不動産コンサルティング

ーリリース内容に関するお問い合わせ先ー

トーセイ株式会社 経営企画部 広報担当 玉井

Tel:03-3435-2864/Fax:03-3435-2866

Email:pr-tosei@toseicorp.co.jp